

けや中だより

第14号

令和6年3月8日(金)

三田市立けやき台中学校

ご卒業、おめでとうございます

大掃除や球技大会、そして卒業式の練習が始まり、今日の3年生を送る会。あわただしく卒業前の行事が続き、3年生が「けや中生」として登校するのは「あと4日」となりました。仲間との楽しい思い出、互いに励まし合ってがんばったこと、同じ目標で努力し達成した歓喜の瞬間……。当たり前のようにそばにいて、ずっと一緒に過ごしてきた仲間とのふれあいを笑顔で楽しむ中で、ふっと寂しさを感じる瞬間があるかもしれません。

4月に会ってから1年、修学旅行、体育大会や文化祭、そして何気ない日々。3年生の取り組みは、どれも「創意工夫」に満ちていました。互いを尊重しながら自ら楽しみ、常に高みを目指す姿は、後輩たちの憧れでした。大きな行事を振り返ってみましょう。

◇6月6日から、「Draw Future~200色の花束~」をスローガンに掲げて出発した修学旅行。ルールやマナーは120点満点。自分を律し、九州で出会う人、誰もが好感をもつ立ち居振る舞いでした。3年生の皆さんの、一番の思い出は何でしょう？

◇9月12日、光あふれる秋空の下で行った体育大会。スローガンは「とっこいし努力勝~Catch the Victory~」。このスローガンを体現すべく3年生の情熱が学校全体に広がり、若い力が見ているたくさんの人を勇気づけました。

◇インフルエンザで延期になった文化祭。満足な練習が積み重ねられなかった中でも、学年目標ともリンクするスローガン「さいきょう史上最響」のもと、互いの個性や特技を響かせました。合唱では、「私たちの曲」として思いを込めた存在感のある歌声を響かせてくれました。

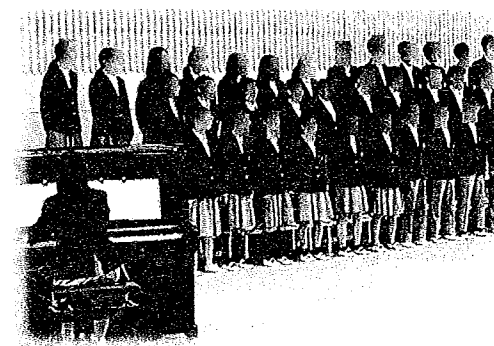
大きな行事以外にも、大切な仲間と過ごした日々の中にたくさんの楽しい思い出があることでしょう。

とは言え、中学校生活は楽しいことばかりではなかったかもしれません。しんどいことや辛いこと、歯を食いしばって耐えたこともたくさんあったことでしょう。人生には困難はつきものです。でも、自分の志があり、そのためという思いがあれば、乗り越えることができるのではないのでしょうか。皆さんも中学校生活の中で、困難としっかりと向き合い、志をもって困難を乗り越え、成長してきたことでしょう。

「志を立てて、以って万事の源となす」
明治維新の原動力となった志士たちを育てた吉田松陰の言葉です。

もうひとつ、皆さんにぜひとも贈りたい言葉。

“Peace begins with a smile”「平和は微笑みから始まる。」
貧困や病に苦しむ人々を救う活動に生涯を捧げたマザーテレサの言葉です。とてもシンプルですが、



とても大事なことです。お互いっこりと微笑むと、それだけで仲良くなれます。笑顔でいる人のところに人は集まり、コミュニケーションが生まれ、一緒に何かをやり始めます。新しいことに挑戦する気持ちになれます。これは個人と個人で仲良くすることはもちろん、世界平和にも共通する真実だと思います。

みなさんの笑顔は、たくさんの人に幸せを届けます。

みなさんの存在は、たくさんの方の希望の光となります。

9年間の義務教育を終え、4月からはそれぞれの進路先での生活が始まります。

「志をもって困難に立ち向かう」「笑顔で人と接する」

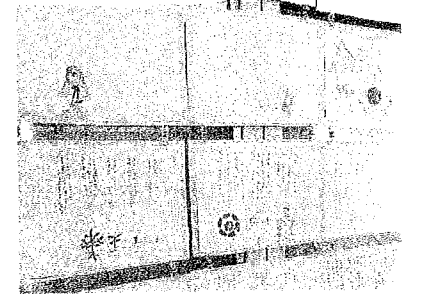
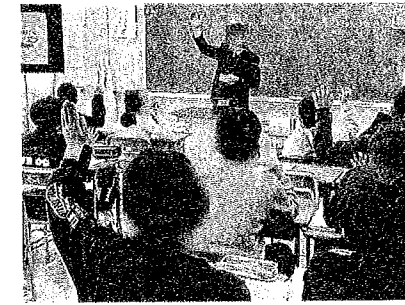
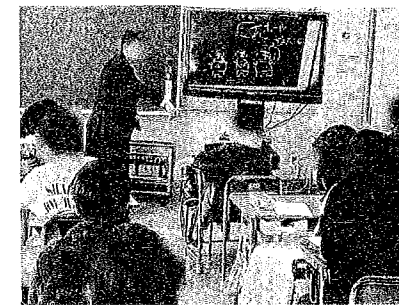
自分の存在を大切に、誇りをもって人生を切り拓いていってください。ガンバレ！けや中生！！

中学校区、一丸となって子どもを育てます

三田市では、幼稚園・保育所と小学校、小学校と中学校など、複数の学校段階間で連携して子どもたちを育てていく「学校園所連携」を進めています。

けやき台中学校区においても、校区の学校・園・所で連携して、授業や行事を相互に参観したり研究会に参加するなどして、子どもの学びのつながりを意識した教育活動ができるよう教職員の連携協議を進めています。また、トライやる・ウィークや「服の“チカラ”プロジェクト」などにも協力いただいています。

2月末、中学校の教員が小学校へ出向いて出前授業を実施。中学校入学前に中学校の先生と出会い、英語の授業の雰囲気を感じてもらいました。今日の授業のねらいは、英語を“使って”何かをすることの楽しさを感じることに。



良い姿勢で、しっかりと先生の方を見る児童の皆さんに「Nice to meet you!」のあいさつ。先生からは、「意味は、あなたと出会えて幸せです」「なんて素敵な言葉でしょう」と、6年生の皆さんと出会ったことの喜びを表現。続いて先生の自己紹介やけやき台中学校に関するクイズ。先生を紹介するために中学1年生がつくった英作文も紹介して、中学1年生の学習をイメージ。

「言葉のキャッチボールが大切」「言葉って、話す・書くだけでなく、伝えるってこと」と英語を学ぶ意義の説明やコミュニケーションに対する思いを語りました。最後に、「英語を学んでいくと、こんなことができるようになるよ」と中学3年生がつくった英語のスライド（ハワイの紹介、三田の紹介）を見てもらいました。さあ、中学校で学ぶことに興味を持ってもらえたでしょうか。

令和5年度「学校評価」報告

12月に生徒・保護者の皆さんにご協力いただいた「学校評価アンケート」を参考に、校内の学校評価委員会で今年度の取り組みを評価（内部評価）しました。2月15日（木）、学校運営協議会（学校関係者評価委員会を兼ねる）を開催し、アンケートの結果や分析、改善方法などを説明、様々な角度から意見や助言をいただきました。

皆さまからいただいた意見につきましては、全教職員で共有し次年度の学校経営に生かしてまいります。なお、裏面に「学校評価報告書」としてまとめておりますのでご覧ください。学校ホームページにも掲載してまいります。



令和5年度 学校評価報告書

学校名	三田市立けやき台中学校
-----	-------------

1 学校教育目標

夢や希望を持ち、目標に向かってたくましく、しなやかに生きる生徒の育成
～明るく、わ(和・輪)のある学校～

2 今年度の学校重点目標

- (1) 自尊感情を高める (2) 学力向上の取組 (3) 生徒指導の充実
- (4) 人権教育・特別支援教育の充実 (5) 家庭・地域との連携
- (6) 学校園所連携(小中一貫教育)の推進 (7) 働きがいのある職場づくり

3 総合的な自己評価

学校教育目標の実現に向け、重点課題を中心に取組みを進めてきた。生徒のアンケート回答において、多くの項目で肯定的評価(「そう思う」「だいたいそう思う」)が9割程度であり、特に、「学校の雰囲気明るく、活気がある」「災害・非常時への備え」についての肯定的評価が高いことに元気が出る。

一方、授業での発表や家庭学習、読書、生徒理解、地域での活動等、取組むべき課題もある。生徒の声や姿、保護者の意見などから、改善の方針・具体的な手立てを考え、全職員で取組んで一層の教育活動の充実を図り、生徒の資質・能力を高めたい。

PTA、保護者、地域、ボランティアの皆様のご理解・ご支援により、豊かな教育活動が進められたと感謝する。

4 総合的な学校関係者評価

学校教育目標の実現に向かって、課題を明確にして教職員が取組んでいることがわかる。向上心を持って改善を図り、教育活動の一層の充実へ向けて教職員一丸となって取組んでほしい。

思いやりのある生徒、学校に誇りを持っている生徒が多い。地域で暮らしていても、けやき台中の関係者であることを誇りに思う。また、生徒会活動など先輩の姿にあこがれて考え取り組む生徒の意欲も感じられる。けやき台中の伝統が引き継がれていることをうれしく思う。

学ぶ気持ちを持ち続け、素直で人に好かれる人になってほしい。地域のみなさんとの出会いやふれあいによって、生徒が成長していることに感謝である。

5 評価結果

自己評価		学校関係者評価		
分野・領域	評価項目(取組内容)	評価結果及び分析	改善の方策	学校関係者評価委員会の意見
学校教育目標	学校教育目標や重点課題、目指す生徒像・学校像・教師像を意識した教育活動が日々実践されているか。	各設問において、肯定的評価が9割程度である。学校教育目標やめざす生徒像の実現に向かって、学校生活を明るく楽しいものにしてきている。	学校教育目標やめざす生徒像、学校像の更なる浸透を図るとともに、課題意識をもって重点目標に取り組む。	アンケートから、学校教育目標へ向かって教育活動が実践されていることがわかる。地域で生活していても実感があがる。「けやき台中学校に誇りをしている」「好き」など、けやき台中学校の関係者でよかったと感じる。今後も改善、努力を続けてほしい。
	生徒が学習する場としてふさわしい教育環境が整っているか。	「災害・非常時の備え」について、昨年度から取組んできた安全対策が定着してきたと共に、新たに不審者対策も強化した。	命を守るための危機管理、不審者対応を一層徹底すると共に、清掃指導を見直し、全員で気持ちの良い学習環境づくりに取り組む。	授業を参観すると、明るい雰囲気での授業が行われている。教育環境の整備や災害・非常時の備えなど、一層の取組みを願う。教室に入りにくい生徒も学べるよう環境整備を願う。
教育課程学習指導	適切な時期と目的により、充実した学校行事を実施できているか。	体育大会や文化祭などの学校行事に全校生徒で取り組み、充実感のあるものになってきた。PTAによる受付を行い、安全・感染対策ができている。ホームページなどでも、生徒の活動の様子を発信し、関心を持っていただいている。	体育大会の熱中症対策が必要である。開催時期の検討などを進める。部活動の地域移行が始まっている。地域の方も借りながら、スポーツや文化、科学等に親しむ機会を広げ、充実させていきたい。	行事に関して高い評価を得ている。生徒の活動を見ても、充実感を感じていると思う。
	「学力向上指導改善プラン」に基づき、授業改善・家庭学習の充実・学力補充・小中連携の充実・読書活動の充実に取り組んでいるか。	「iPadの効果的な活用」を研究テーマに、学力向上に取り組んできた。授業での発表や家庭学習の充実、読書を継続した課題と考える。	グループ学習の充実など、学力向上指導改善プラン(授業改善・家庭学習・学力補充・小中連携・読書)の実行を一層進める。	昨年同様、読書の機会が少ない。勉強時間との兼ね合いもあるかもしれない。朝読書や図書ボランティアなど、学校の取組みは評価する。本に親しむ取組みを進めてほしい。学習について、学習習慣をつけることと、学ぶ意欲を高めることが重要である。グループ学習の機会を増やすなど指導方法を工夫して生徒の力を伸ばしてほしい。

生徒指導	教育相談の充実により生徒理解に努めるとともに、問題行動の早期発見・早期対応、未然防止に取り組んでいるか。	生徒は思いやりの心を持ち、ルールや服装、あいさつなど落ち着いた生活を送っている。保護者と協力しながら一層の生徒理解を進め、仲間づくりや問題行動の早期発見・早期対応に取り組んでいく必要がある。	生徒への言葉かけや言葉遣いを見直すこと、伝え方を工夫改善すること、共感的に生徒の声を聴くことなど、生徒が相談しやすい環境を充実させていく。	言葉遣いなど改善すべきところは改善し、一層の生徒理解に努めてほしい。誰にでも進んであいさつができるようになってほしい。先生をはじめ、各家庭においても大人が範を示していくと生徒はあいさつができるようになる。問題行動の未然防止のために、あいさつや靴をそろえるなどすると、心が整い良いと思う。
	「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ問題に迅速かつ組織的に対応できているか。	小さな変化を見逃さないように、日常的な関りを大切にし、生活アンケートや教育相談を継続している。いじめ対応チームで情報共有と方針決定を行い、組織的に取り組んでいる。	「いじめはどこでもどの生徒にも起こりうる問題である」との認識で、小さいいじめも見逃さないように指導する。また、ストレスに対処できる力やわかる授業づくりなど、いじめに向かない態度・能力の育成にも取り組む。	生徒が、思いやりの心を持っているのがいい。大事にしてほしい。いじめの見逃しがゼロになり、アンケートの肯定的評価が100%になるように、一層の取組みを期待する。
家庭・地域との連携	通信やHP、オープンスクールによって家庭や地域に情報を発信し、開かれた学校づくり・信頼され応援される学校づくりができているか。	ホームページにたくさんの方々からアクセスがあり、生徒・学校の様子を発信できた。ホームページが、けやき台中学校に関心を持っていただく機会となっている。	タイムリーな情報発信を一層進めると共に、生徒の様子を直接見ていただく機会の充実に努める。	HPによる学校生活や生徒の様子の発信は効果的で、アクセスのしやすさのある内容になっている。アクセス数の増加からもそのことがわかる。
	学校運営へのPTAや地域住民の参画、及び協力を推進しているか。	「図書ボランティア」「生け花ボランティア」「朝のあいさつや見守り」「植栽ボランティア」「PTAのみなさんによる行事ごとの受付」などの協力により、スムーズに、安全に、また、豊かに教育活動が実施できている。	地域の協力やボランティアに感謝である。生徒は「人の役に立ちたい」「地域や社会のために何かしたい」という気持ちを持っている。生徒が地域で活躍する機会を増やしていけるようにする。	多くのボランティアの支援で学校が充実した教育活動を行っていることがわかる。クリーンデー参加への呼びかけやウッドイタウン運動会への参画など、生徒が地域で活躍する機会を増やしてほしい。

6 学校自己評価の実施状況について

時期	内容
12月7日～ 12月22日	生徒・保護者・教職員対象にアンケートを実施
2月7日	アンケート結果及び学校自己評価のまとめ
2月22日	アンケート結果を保護者に配布
2月26日	学校評価の総括

※学校自己評価…外部(児童生徒・保護者・地域等)アンケートの実施を含む

7 学校関係者評価委員会の活動について

時期	内容
7月4日	第1回学校関係者評価委員会(学校教育目標説明、評価計画)
9月12日	第37回体育大会参観
10月30日	第37回文化祭参観
12月1日	第2回学校関係者評価委員会(アンケート内容の確認)
2月15日	第3回学校関係者評価委員会(評価・総括)

8 学校評価の公表について

時期	手段	内容	添付
2月	保護者宛て文書	「学校評価アンケート結果」を保護者に配布。	
3月	学校だより	「学校評価報告書」を学校だよりに掲載、地域に回覧。	
3月	学校ホームページ	「学校評価報告書」を掲載。	
4月	学校だより	2023年度学校評価結果を踏まえ、2024年度の取組等を説明。	